

高等学校における実践③(7月)

「われら〇〇族」(構成的グループエンカウンター)

○ 本時のねらい

自分の思いや考えを伝え合う活動を通して、他者との共通点や相違点に気付かせ、親近感をもたせたり、他者への関心を高めさせたりする。

○ 展開(50分)

学 習 活 動	教 師 の 働 き 掛 け	準 備 物
<p>1 ウォーミングアップをする。</p> <p>「パスデーチェーン」</p> <p>一言も話さないで、誕生日順に並び、1つの大きな輪を作る。</p> <p>2 活動の内容やルールを知る。</p> <p>「われら〇〇族」</p> <p>①ヒントカードに記入する。 ②記入が終わったら、グループ内で1人ずつヒントカードに記入した内容を発表する。 ③ヒントカードを基に、グループメンバーの共通点を探し、グループ名を話し合っ決めて。 ④決定したグループ名を色画用紙にマジックで記入する。 ⑤グループごとに、決定したグループ名と名前の由来を発表する。</p>  <p>3 シェアリングをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生日順に並んでできた輪を6人ずつで区切り、グループをつくる。 ・活動の際の約束を確認する。 <p>①人の話は最後まで聴く。 ②他の人の発言を冷やかしたり、否定したりしない。 ③話したくないときには話さなくてもよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通点を見付けられないときはヒントカードに記入していない2番目や3番目に好きなもの、また、ヒントカードにない項目(例えば、出身中学校など)で共通点を見付けてもよいことを伝えて、6人の共通点が見付かるまで話し合わせるようにする。 ・活動を通して、自分や級友について、新たに発見したこと、感じたことをグループ内で出し合わせる。 	<p>ヒントカード 色画用紙 マジック</p>

《参考文献》

- ・ 國分 康孝監修 『エンカウンターで学級が変わる ショートエクササイズ集 Part 2』 2001年 図書文化社 pp.92-93

○ 振り返りシートより

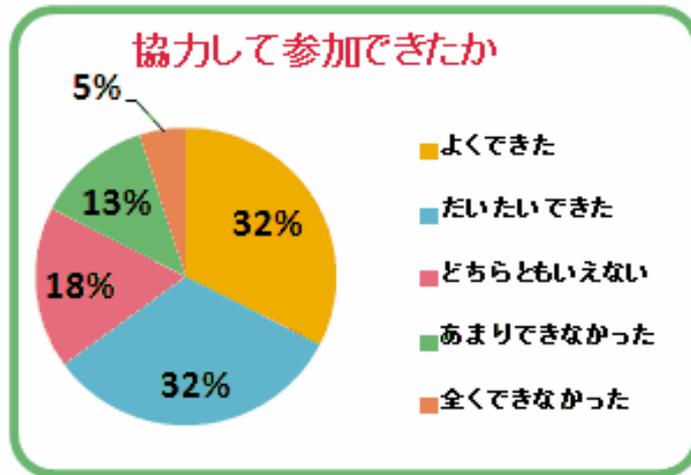


図1 振り返りシートアンケート結果

- ・あまり自分のことを言いたくなかったけど、頑張って言えた。
- ・今までよく知らなかった友人の趣味やストレス解消法を知ることができた。
- ・一緒のグループになった人の好きなものや好きな番組、好きな芸能人が意外で、面白かった。
- ・みんなと共通なことが2つあり、その2つで盛り上がった。とても楽しかった。

○ 実践を振り返って

【集団について】

- ・日頃あまり話す機会のない級友とグループになったことで、授業の最初は表情も硬く、緊張している様子が見受けられた。グループ内で自分のことを発表する際には、恥ずかしがったり戸惑ったりしていたが、グループ名を決定する頃には6人の共通点が見付かり、随分打ち解けた雰囲気になった。
- ・日頃仲のよい友人と別のグループになってしまったせいかわ、グループでの話合いに積極的に入ろうとしない生徒も数名見られた。
- ・「なかなか見付からない」と言いながらも、最終的にはどのグループも共通点を見付けることができた。グループ名を付ける場面では、全てのグループが「共通点探しヒントカード」以外の項目から共通点を見付けてネーミングを行っていた。また、振り返りシートの感想を見ても、「友人との共通点を見付けて、親近感をもつ」というねらいをほぼ達成できていたのではないかと思う。

【個人について】

- ・Bは、振り返りシートに「楽しかった」と書いており、授業中も落ち着きがない様子であるとは感じられなかった。

【気付き】

- ・ウォーミングアップのバースデーチェーンで6人グループを作った。事前に担任から学級全員の誕生日を教えてもらい、男女のバランスを考えて、意図的にグループを構成した。「話さなければ共通点を見付けることができない」という場を仕組むことにより、日頃話すことの少ない級友とも話すことができ、新たな発見につながったようだ。
- ・「共通点探しヒントカード」は、「好きな色」「好きな食べ物」「趣味」など12項目を挙げて記入してもらった。共通点を探すきっかけとしてヒントカードを準備しておく、グループでの話合いがスムーズに進めやすい。